

DPA (DWIDP) JICA 便り

防災対策アドバイザー (Disaster Prevention Advisor) 水資源省治水砂防局 (DWIDP)

No. 7 / 2007. 3. 25

今年は3月上旬から中旬にかけて、肌寒い日が多いように感じました。それでも3月下旬になり、かなり暖かくなってきました。ヒマラヤの山々は雨上がりなどの条件の良い時に、時々見える程度です。カトマンズの王宮通り近くでは、マツチェンドラナートのための「山鉾」の組立がはじまりました。



組立中のセト(白)マツチェンドラナート
(背後はカトマンズ現王宮)

国内情勢についてはタイ地域でのバンダ・ブロッケードは継続しています。また、19日にホテルオーナーへの暴力事件を含むマオイストによる暴力・献金強要に抗

議し FNCCI (商工会議所連合) が無期限ストライキを発表し、20日は銀行を含む店舗等の閉鎖・学校の休校などがみられました(その後、ストライキは解除)。21日にはタイ地域のロウタハト郡ガウル (Gaur, Rauthat District) で Madesi People's Rights Forum (MPRF) とマオイストが、同じ場所でそれぞれ集会を開催しようとし衝突に発展、少なくとも28名の死者(多くはマオイスト)が出たとの報道があります。

制憲議会選挙へ向けた平和へのプロセスが、今回の事態で遅れるようなことがないことを切に願います。今後とも安全に十分注意を払いつつ、ネパールの災害の軽減を図り、災害で苦しむ人々が少なくなることを願って活動をしたいと思います。ご指導・ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

外務省国際協力局 別所局長が来所されました



別所局長(中央)へ説明する筆者

3月20日、外務省国際協力局の別所局長と国際協力局国別開発協力第一課の佐藤課長補佐が来所され、平岡大使とともに DWIDP を視察されました。別所局長と佐藤課長補佐はネパールには19日から21日までの大変短い滞在のなか、おいでいただいたものです。DWIDP 到着後、筆者から1階フロアーに

ある説明パネルにてネパールの地勢、洪水・土砂災害との関係、それに対する DPTC、DMSP などの日本の援助について説明させていただきました。その後、セミナーホールにて、DWIDP 全職員にて歓迎のセレモニーを実施しました。バッタライ局長からは、DWIDP の設立の経緯等と日本の援助に対するお礼が



挨拶される別所局長

述べられました。当日は午前中に政府要人との会合、午後からシンズリ道路第4工区、ドゥリケル病院を視察されてからの DWIDP 視察ということで、大変な強行軍の中においていただいたものです。

主な出来事・トピック

NFAD 作文コンクールの表彰式を実施しました

3月22日にネパール治水砂防技術交流会（NFAD）主催の第4回目となる洪水・土砂災害に関する作文コンクール優秀者の表彰式を、マテマ元駐日大使、トリブバン大学のアビスベディ英語学教授等のご臨席のもと、DWIDP セミナーホールにて実施しました。当日は一部の学校ではテストの日ということでしたが、表彰対象者30名に対して19名の生徒さんが校長先生らとともに集まってくれました。今回はマテマ元駐日大使のご発案で、当日集まった皆さんに、日本に関するビデオを見てもらって、それについて質問や感想を述べてもらう機会を持ちました。ビデオは日本大使館から借用した、最新の義足の技術、世界遺産高野山、自然災害への備え、それぞれ5分間のもの3本を放映し、終了後、自分の感想や質問が何人かから出されました。



ビデオの上映



式典終了後、皆で記念写真

式典では、マテマ元大使とバッタライ局長、そして筆者が挨拶し、学生のうちから防災について考えておくことの重要性について触れました。最優秀4名、優秀6名、優良20名に対して賞状と賞品がマテマ先生、アビ先生、バッタライ局長から生徒達に手渡され式典は終了しました。

国土交通省建設経済局国際建設室

3月5日から7日の日程で、国土交通省国際建設室の浜野課長補佐と名久井係長が、国土交通分野における ODA 技術協力に関する実態調査のため来ネされました。



名久井係長（左）と浜野補佐（中央）
（DWIDP にて）



現地踏査の様子
（マタティルタ）

5日には国交省から派遣されている田島専門家の在籍する道路局（DOR）と、筆者の DWIDP を視察いただき、6日は、シンズリ道路第4工区、そしてマタティルタの災害復旧現場を見ていただきました。マタティルタの現場では、小学校で子供たちが勉強中で、その様子を見ることが出来ました。5日夜には、建設関係に従事する日本人を中心とした夕食会をもち、

ネパールの実態等を伝えることが出来たと考えています。

防災対策アドバイザー活動

DWIDP ミーティングを実施しました

3月23日にDWIDP セミナーホールにて、DWIDP 職員を対象としてミーティング(セミナー)を開きました。今年度に防災対策アドバイザーの業務として実施した、2006年雨期の災害の状況の実態調査の報告を、本業務を委託したコンサルタントの責任者からしてもらおうとともに、バンケ郡・バルディア郡そしてカスキ郡の調査に同行いただいた、DWIDP のトラダール砂防課課長からも、報告いただきました。また筆者からは防災対策アドバイザーの任務とこれら実態調査との関係、日本における災害に対する初動体制、災害復旧制度の概要などについて話をしました。



主旨を説明する筆者(右)

報告会の終了後、筆者に対する送別のセレモニーを一般のDWIDP 職員含めて実施していただきました。

編集後記

筆者のネパールでの滞在も残りわずかとなりました。3月27日ネパール発、28日日本着の予定で最後の片付けをしているところです。2005年2月22日に中川専門家とこちらに着いてからの1年半はDMSP-FUの専門家として、2006年9月1日からは防災対策アドバイザーとして合計2年1ヶ月間、皆様のご指導・ご支援によりまして、こちらで無事勤務することができました。本当にありがとうございました。後任は追って赴任予定と聞いておりますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

編集責任者：武士俊也

電話：+977-1-5535502 Fax：同-5523528 E-mail：dmspfu@wlink.com.np